

資 料

令 和 元 年 度

事 業 報 告



一般社団法人 高知県交通安全協会

目 次

第1 活動重点等の推進状況	1
1 最重点事項	
「高齢者の交通事故防止」	1
2 重点事項	
(1) 子供の交通事故防止対策	2
(2) 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの着用の徹底	3
(3) 飲酒運転の根絶	4
(4) 自転車の安全利用の推進	4
(5) 運転中の携帯電話等の使用禁止（自転車を含む）	5
(6) 暴走族の根絶	5
(7) その他の交通事故防止対策の推進	5
ア 「交通マナーアップ運動」の推進	5
イ 若年者の交通事故防止対策の推進	6
(8) 広報・啓発活動の推進	6
(9) 活動状況写真	8
第2 交通安全運動と主な行事	13
第3 二輪車運転者に対する安全教育の推進	15
第4 自転車利用者に対する安全教育の推進	17
第5 事業の運営	17
1 受託業務	17
(1) 道路使用適正化業務	17
(2) 免許申請受理等窓口業務	17
(3) 更新時講習	19
(4) 処分者等講習	19
(5) 原付法定講習	19
2 交通安全自販機事業	20
3 ホームページバナー広告事業	20
第6 交通安全D V D等の貸出	21
第7 表彰関係	22
第8 交通安全高知県民大会の開催	24
第9 会議関係	29

第1 活動重点等の推進状況

令和元年度も、「交通安全は家庭・地域・学校・職場から」、「高知の交通マナーを高めよう」をスローガンとし、高齢者の事故及び高齢死者の増加傾向に歯止めをかけるため、

最重点事項「高齢者の交通事故防止」

を掲げ、以下

- 子供の交通事故防止対策
- 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの着用の徹底
- 飲酒運転の根絶
- 自転車の安全利用の推進
- 運転中の携帯電話等の使用禁止（自転車を含む）
- 暴走族等の根絶
- 広報・啓発活動の推進

を重点とした各種交通安全活動を推進した。

その結果、令和元年中の県内における交通事故は発生件数、負傷者数は減少したものの、死者数は3年ぶりに増加し、前年より4人多い33人であった。

以下、令和元年度の主な活動状況は次のとおりである。

1 最重点事項「高齢者の交通事故防止」

高齢者に対する思いやりのある交通安全意識の醸成と、高齢者自身の交通安全意識の高揚を図ることを重点対策として、各警察署の高齢者交通安全アドバイザーや関係機関と連携するなど、あらゆる機会をとらえて交通安全活動を推進した。

令和元年中の高齢死者は25人で、前年比7人増となり、全死者に占める割合は75.8パーセントで全国平均の55.4パーセントを大きく上回った。

（1）県協会が実施した主要施策

高齢者の交通事故防止を目的とした「シニアドライバーズスクール」（10月19日、運転免許センター）をJAF高知支部と連携して開催した。また、各種講習会や街頭指導等において反射材等を配布活用した。

- マルチスリムライトの配布（1,250個）
- 「交通安全ふれあいフェスタ2019 in 豊多」での俊敏性測定の実施
- 高知新聞、交通安全協会ホームページによる広報の実施

(2) 支部が実施した主要施策

- 高齢者宅訪問（高齢者1万人訪問指導等）による交通安全指導
- 体験実践型サポカー教室
- 年金受給日における交通事故防止啓発活動
- 明るい色の服装と反射材着用実験
- 夜間の危険場面体験講習
- グランドゴルフ大会
- 「高齢者交通安全の日」等の街頭指導
- 無事故無違反「チャレンジ100」
- スーパーアドバイス作戦
- 高齢者交通安全教室

2 重点事項

(1) 子供の交通事故防止対策

子供の交通事故は、子供の行動特性に起因するものが多い。悲惨な子供の交通事故防止対策として、幼い頃から交通ルールを学ばせ、これを習慣づけることを目的に、以下の交通安全教育等を実施した。

その結果、令和元年中の県内における子供の交通事故は、78件、死者0人、傷者78人で、前年と比較して件数が5件、傷者数が1人増加したが死亡事故は発生していない。

ア 交通安全教室の開催

警察や自治体と連携し、保育・幼稚園児、小・中学生を対象に、正しい歩行、横断方法及び自転車の正しい乗り方等を指導した。

令和元年の交通安全教室の開催状況は、次表のとおりである。

区分	回 数	受講人員
幼児	261	12,669
小・中学生	315	20,819
計	576	33,488

イ 子供自転車大会の開催及び全国大会への参加

小学生による自転車の正しい乗り方の普及、交通事故防止を目的に、県警や県、教育委員会と連携し「交通安全子供自転車県大会」を開催した。（令和元年6月29日、高知市立春野東小学校体育館）

昨年につづき香南市立「佐古小学校」が、東京ビッグサイトで開催された全国大会に

出場し（令和元年8月7日）健闘しました。

ウ その他県協会が実施した主要施策

- 若年者向け反射材の配布（1,700個）
- 高知新聞、交通安全協会ホームページによる広報

エ 支部が実施した主要施策

- 新入学児童へのランドセルカバーや黄色い帽子、反射材等の贈呈
- 幼児及び新入学園児、小・中学生に対する交通安全教室の開催
- 通学路に対する危険箇所調査及び対策等
- 「児童・園児の交通安全日」等の街頭指導
- 「交通安全こどもセンター」における子供を対象とした『体験型交通安全教室』の開催
- 「交通安全ポスター展」の開催
- 交通少年団による啓発活動

(2) 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの着用の徹底

シートベルト等の着用は、交通事故発生時のダメージを最少にするなど、交通事故死者の抑止に大きな効果が認められており、あらゆる機会を活用して広報啓発活動を積極的に推進した。

県内のシートベルト着用率は、下表のとおりである。（令和元年11月調査）

着用率 (%)	一般道			高速道		
	運転者	助手席	後部席	運転者	助手席	後部席
県内	99.0	95.1	32.6	99.8	97.8	75.9
全国平均	98.8	95.9	39.2	99.6	98.3	74.1

令和元年中の県内四輪車乗車中の死者14人のうち、非着用は7人で、7人全員が着用していれば助かったとされている。

また、チャイルドシートの着用率は、県内が70.0パーセントで、全国平均を0.5ポイント下回っている。

ア 県協会が実施した主要施策

- チャイルドシート無料貸出事業の広報

イ 支部が実施した主要施策

- シートベルト・チャイルドシート着用キャンペーン
- 各種講習会等における着用促進活動
- チャイルドシート無料貸出

(3) 飲酒運転の根絶

飲酒運転は常に重大事故に直結する危険性をはらんでおり、飲酒運転の根絶に向けた街頭活動及び広報啓発活動を推進した。

令和元年中の飲酒運転検挙は199件で、前年比-24件（-10.8%）の減少であるが、依然として後を絶たない状況にある。

ア 県協会が実施した主要施策

- 交通安全協会ホームページにおける飲酒運転追放「ハンドルキーパー運動キャンペーン」
- 「飲酒体験ゴーグル」「ラインチェックカー」の無料貸出
- 飲酒運転根絶啓発DVDの無料貸出

イ 支部が実施した主要施策

- 交通安全フェア、各種講習会等における「飲酒体験ゴーグル」を活用した広報啓発活動
- ハンドルキーパー普及キャンペーン
- 飲酒運転根絶パレード、キャンペーン

(4) 自転車の安全利用の推進

「高知県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」に沿って、自転車利用者の交通安全意識をより高め、ヘルメットの着用や損害賠償保険加入率の向上等を図るため、自転車交通安全教育、自転車マナーアップキャンペーン、街頭指導等、広報啓発活動を積極的に推進した。

令和元年中の自転車事故は、329件、死者5人、傷者313人で、前年と比較し件数が14件、傷者が9人増加したが、死者は2人減少した。依然として安全運転義務を怠った事故が多く発生しており、自転車をめぐる交通情勢は厳しい状況にある。

ア 県協会が実施した主要施策

- 高知新聞、交通安全協会ホームページによる広報

- 小冊子「自転車安全教室」の配布（1,200部）
- チラシ「自転車のながら運転はやめよう」の配布（2,500枚）
- 自転車保険加入促進の広報

イ 支部が実施した主要施策

- 学校、警察と連携した「自転車安全教室」（280回・18,649人）
- 自転車マナーアップ啓発パレード
- 自転車マナーアップに関する看板、ポスター、懸垂幕等の掲示
- 自転車利用者に対する「夜間ライト点灯」の街頭指導
- 自転車街頭指導日（毎月15日）の街頭指導
- 「県自転車マナーアップキャンペーン」（5月中）
- 自転車安全リーダー研修会の開催
- 量販店やアーケード内での自転車交通安全指導啓発

(5) 運転中の携帯電話等の使用禁止（自転車を含む）

自転車利用者のマナー向上対策と連動し、高知新聞、交通安全協会ホームページによる広報を実施し、支部では自転車利用者に対する街頭指導を積極的に推進した。

(6) 暴走族の根絶

若者に暴走を「しない」「させない」「見に行かない」の3ない運動の輪を広げるとともに、県民が見張り番となって「暴走をさせない」環境作りを呼び掛けるなど広報啓発活動を実施した。

(7) その他の交通事故防止対策の推進

ア 「交通マナーアップ運動」の推進

(ア) 県協会が実施した主要施策

高知新聞、交通安全協会ホームページによる広報

(イ) 支部が実施した主要施策

- ドライバーズコンテスト「セーフティロード103(土佐)」（9／20～12／31）
(参加1,872チーム・9,360人)
- 交通マナーアップキャンペーン
- 交通マナーアップに関する看板、ポスター、懸垂幕等の掲示

イ 若年者の交通事故防止対策の推進

令和元年中の若年者（16歳から24歳の者）による交通事故は、367件で前年比23件（5.9%）、傷者は220人で前年比11人（4.8%）減少、死亡事故は発生（前年は3人）している。

(ア) 県協会が実施した主要施策

- リーフレット「高校生のためのsafety Riding!」の配布（300枚）
- 原付法定講習
- 高校生及び高専生に対する原付等安全運転講習
- 一般人を対象としたライディングスクール
- 二輪車高知県大会の開催

(イ) 支部が実施した主要施策

- 各種講習会、街頭活動等に並行した若年運転者への事故防止の呼びかけ
- 原付講習

(8) 広報・啓発活動の推進

県民の交通安全意識の高揚を図るため、県協会及び各支部において積極的な広報、啓発活動を推進した。

ア 県協会が実施した主要施策

(ア) 新聞広報

高知新聞に「交通安全ニュース」（春・秋の全国交通安全運動）、毎日新聞に「交通安全スローガン等」（年当初）を掲載した。また、高知新聞が平成28年10月から開始した高齢者交通事故ゼロキャンペーン2019に協力し、高齢者対策の行事に関する記事を計6回掲載した。

(イ) 交通安全協会ホームページによる広報

交通安全協会として取り組んだ各種交通安全行事（各支部の活動、各種交通安全大会のお知らせ等）や道路交通法改正等の記事を、写真を交えてタイムリーに配信するように努めた。

(ウ) 広報活動用各種資料等の作成配布

- 全国交通安全運動用ポスター（1,200枚）、チラシ（8,300枚）

イ 支部が実施した主要施策

- 街頭における指導、啓発活動
- ドライバーサービス、交通茶屋等の開設

- 交通安全パレード
- 懸垂幕、桃太郎旗等の掲示
- 電光掲示版による広報
- 人間立て看板による広報
- 車両による移動広報
- 防災無線による広報

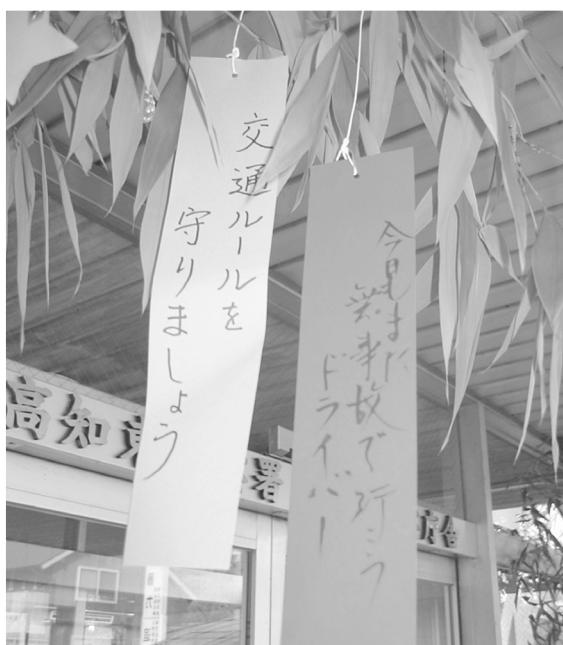
(9) 活動状況写真

各種交通安全教室



交通安全啓発活動





高校生等の交通事故防止活動



自転車・二輪車の交通安全大会



第2 交通安全運動と主な行事

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		<p>春の全国交通安全運動 5月11日～20日</p> <p>☆子供と高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止 ☆自転車の安全利用の推進 ☆全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底 ☆飲酒運転の根絶</p>	<p>二輪車安全運転高知県大会</p> <p>6月2日、高知県自動車学校で9人が出場して開催。各クラスの優勝者は、 女性クラス 廣田ゆかりさん 高校生等クラス 元吉 海翔さん 普通二輪クラス 下元 啓資さん 大型二輪クラス 小田 裕朗さん</p>		<p>秋の全国交通安全運動 9月21日～30日</p> <p>☆子供と高齢者の安全な通行の確保 ☆高齢運転者の交通事故防止 ☆夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止 ☆全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底 ☆飲酒運転の根絶</p>			<p>年末年始の交通安全運動 12月6日～12月15日 1月8日～1月17日</p> <p>☆子供と高齢者の交通事故防止 ☆飲酒・暴走運転の根絶 ☆自転車の安全利用の促進 ☆歩行者の保護</p>			

セーフティロード土佐
9月20日～12月31日の103日間

参加 1,872チーム 参加者 9,360人

交通安全子供自転車高知県大会

6月29日、高知市立春野東小学校体育館で、佐古小学校の7人、春野東小学校の3人が出場。

優勝 竹井 詩織さん(佐古小)
2位 春日井 凜さん(佐古小)

第54回交通安全子供自転車全国大会

8月7日、東京ビッグサイトで開催。

県代表 佐古小学校
春日井 凜さん
竹井 詩織さん
小山 莉明さん
谷岡 茅依さん

第58回交通安全高知県民大会

11月21日、高知市文化プラザかるぽーとにおいて「交通安全高知県民大会」を開催した。

☆管区・銅章・四交協表彰伝達 (126)
☆県警本部長・協会長連名表彰 (61)
☆県協会長表彰 (1)
☆大会宣言の採択
☆講話「交通事故の危険性」

第3 二輪車運転者に対する安全教育の推進

1 高校生に対するバイク等安全運転指導の実施

県警交通機動隊及び関係警察署の協力を得て、バイク通学を認めている高校10校2,247人に対し、自転車と原付の交通ルール及び交通マナー向上のための講話をを行い、うち266人についてはバイク安全運転実技講習を実施し、その他の1,981名には交通安全DVD視聴により安全教育を推進した。

実施状況は、次表のとおりである。

令和元年度 原付自転車安全運転講習会 実施結果一覧表

No.	学校名	講習実施日	受講者総数 (交通講話 受講者)	DVD講習 実技講習	所轄署	出動人員				
						特別 指導員	地元 指導員	交機隊	所轄署	安全協会
1	追手前高校吾北分校	4月15日(月) 13:00~	36人	30人 6人	土佐署 (いの分庁舎)	2	0	2	1	2
2	梼原高校	4月18日(木) 13:30~	127人	91人 36人	須崎署	2	0	2	1	2
3	中村中・高等学校	4月23日(火) 13:30~	717人	677人 40人	中村署	2	3	2	1	2
4	窪川高校	4月25日(木) 13:25~	50人	46人 4人	窪川署	2	0	0	1	1
5	幡多農業高校	5月9日(木) 13:30~	346人	346人 0人	中村署	0	0	0	1	1
6	須崎総合高校	5月31日(金) 13:30~	488人	432人 56人	須崎署	2	1	2	1	2
7	清水高校	9月18日(水) 12:50~	123人	92人 31人	中村署 (清水分庁舎)	3	1	2	1	2
8	高知海洋高校	10月31日(木) 13:25~	65人	40人 25人	土佐署	2	2	2	1	2
9	宿毛高校	11月1日(金) 13:30~	240人	189人 51人	宿毛署	2	2	0	1	2
10	大方高校	11月6日(水) 13:35~	55人	38人 17人	中村署	2	0	2	1	2
合計10校 10回			2,247名	DVD受講者数 1,981名 実技受講者数 266名		19	9	14	10	18

※雨天による実技中止 1校 (幡多農業高校)

窪川高校及び宿毛高校は天候等の関係で交通機動隊員の出動はなく、特別指導員のみで実技講習を実施

2 二輪車安全運転講習の実施

安全運転知識及び運転技能を高め、交通事故防止に寄与するため、高知工業高等専門学校において二輪車講習を実施した。

令和元年度は、高知工業高等専門学校生（4回・70人）が受講した。

3 ライディングスクールの開催

二輪ライダーの運転技能向上を目的とした実技中心のライディングスクールを、高知県自動車学校において開催した。

令和元年度の開催状況は、次表のとおりである。

実施回数	受講者数	指導員数
7回	33人	8人

4 二輪車安全運転県大会の開催

二輪車の安全運転知識と技能の向上を図り、交通事故防止に寄与することを目的に、6月2日（日）、高知県自動車学校において、二輪車安全運転県大会を開催した。

高校生等クラス（50cc以下）、女性クラス（50cc以下）、普通二輪クラス（400cc以下）、大型二輪クラス（400ccを超えるもの）の4クラスに9人が出場して競った結果、

高校生等クラス 元吉 海翔さん

女性クラス 廣田ゆかりさん

普通二輪クラス 下元 啓資さん

大型二輪クラス 小田 裕朗さん

が優勝した。

第4 自転車利用者に対する安全教育の推進

当協会、県、県警察、自転車商組合等で構成する「高知県自転車対策連絡協議会」を設置し、自転車の安全教育事業を実施している。

本教育の主たる対象は、幼児、小・中学生であるが、高齢者等も含めた自転車安全教室を実施した。

令和元年の交通安全教育の実施状況は、次表のとおりである。

区分	回数	受講人員		
幼児	261	12,669	33,488	
小・中学生	315	20,819		
高齢者	825	15,116		
その他	207	11,181		
合計	1,608	59,785		

第5 事業の運営

1 受託業務

(1) 道路使用適正化業務

本業務は、高知県から委託を受け、高知・高知南・高知東警察署管内（土佐山、鏡、春野町を除く）における

- 道路使用許可に係る判断要素の調査
 - 道路使用許可事項及び条件の履行状況の調査、確認
- 等を内容とするものである。

令和元年度の業務推進状況は、次表のとおりである。

区分 年度別	受託件数				調査回答件数			
	高知	高知南	高知東	計	高知	高知南	高知東	計
令和元年度	151	119	125	395	513	363	419	1,295
平成30年度	229	115	139	483	660	354	395	1,409
増減	-78	+4	-14	-88	-147	+9	+24	-114
増減率(%)	-34.1	+3.5	-10.1	-18.2	-22.3	+2.5	+6.1	-8.1

(2) 免許申請受理等窓口事務

ア 運転免許センター及び各支部の取扱い状況

運転免許事務に関しては、申請受理等の窓口事務や登録等の業務について、高知県から委託を受けて実施している。

令和元年度の窓口委託業務取扱い件数は、次表のとおりである。

(運転免許センター窓口においては、日曜日も免許更新業務を行っている)

区分	免許センター扱い	支部扱い	計
新規免許申請	4,738	48	4,786
新規免許交付	—	43	43
更新	77,324	35,266	112,590
再交付	2,685	63	2,748
仮免許	608	—	608
記載事項変更	—	21,801	21,801
運転経歴証明書	—	2,271	2,271
国外免許証	—	26	26
限定期解除	—	46	46
講習種別照会	2,790	—	2,790
更新情報提供業務	171,759	—	171,759
計	259,904	59,564	319,468

イ 日曜日の取扱い状況

令和元年度に、運転免許センター窓口において取り扱った運転免許証の更新件数77,324件のうち、日曜日の取扱い件数は21,410件で、全体の27.7パーセントを占めた。その取扱い状況は、次表のとおりである。

区分 年度別	免許センターの 更新件数	うち日曜日の 取扱い件数	全件に占める日曜 件数の割合 (%)
令和元年度	77,324	21,410	27.7
平成30年度	69,809	19,678	28.2
増減	+7,515	+1,732	-0.5

ウ 運転免許証の郵送業務

運転免許証の更新手続終了後や、住所地都道府県以外での更新者から、免許証の郵送希望があった場合に、それを受理し郵送している。

令和元年度の取扱い状況は、次表のとおりである。

区分 年度別	センター更新免許証等			経由地 受理件数	県外手続き 受理件数	計
	郵送 受理件数	うち日曜 受理件数	割合			
令和元年度	9	(9)	100.0	37	52	98
平成30年度	16	(16)	100.0	39	51	106
増減	-7	-7	0	-2	+1	-8

(3) 更新時講習

昭和47年4月から、高知県から委託を受けて、更新時の講習を実施しているもので、平成14年6月から道交法の改正により、以後、優良運転者講習・一般運転者講習・初回更新者講習・違反運転者講習となった。

ア 更新時講習の内訳

令和元年度の講習状況は、次表のとおりである。

区分 年度別	更新時講習受講者数				
	優良運転者	一般運転者	初回更新者	違反運転者	計
令和元年度	49,850	17,355	5,246	13,501	85,952
平成30年度	40,953	16,692	5,275	14,189	77,109
増 減	+8,897	+663	-29	-688	+8,843

イ 熟年学級

免許センターにおいては、前記の講習対象者（初回更新を除く）のうち、65歳以上70歳未満で希望する者には、毎週火曜日・金曜日に更新時講習の一環としての「熟年学級」を実施している。

令和元年度の実施回数及び受講者数は、次表のとおりである。

（70歳以上の者の更新時講習は、特例による「高齢者講習制度」が導入され指定自動車学校において実施されている。）

区分 年度別	免許センター	
	回数	受講者数
令和元年度	4	4
平成30年度	7	10
増 減	-3	-6

(4) 処分者等講習

令和元年度の実施状況は、次表のとおりである。

区分 年度別	停止処分 受講 対象者数	停止処分者講習受講者数					違 反 者 講 習 受 講 者 数
		长期	中期	短期	計	受講率(%)	
令和元年度	1,028	100	177	644	921	89.6	506
平成30年度	1,076	94	166	673	933	86.7	448
増 減	-48	+6	+11	-29	-12	+2.9	+58

(5) 原付法定講習

平成4年の道交法改正により、原付講習の受講が義務付けられたことに伴い、高知県から委託を受け、当協会内にある「高知県二輪車安全運転推進委員会」の指導員を講師

に充て、同講習を実施している。

令和元年度の実施状況は、次表のとおりである。

実施場所	回 数	受講者数	指導員数
免許センター	171	811	329
室戸支部	0	0	0
安芸支部	0	0	0
本山支部	1	1	1
須崎支部	0	0	0
中村支部	6	7	6
土佐清水支部	1	1	1
宿毛支部	0	0	0
支 部 計	8	9	8
合 計	179	820	337

2 交通安全自販機事業

平成26年度より、協会が行う交通安全キャンペーン等の各種活動を支え、より活性化するため、自動販売機の売上げの一部を交通安全活動に活かすことを目的として、「こうち交通安全支援自販機」の設置を進めている。

企業等の協力により、令和元年度末時点で14台を設置している。

3 ホームページバナー広告事業

平成26年度より、交通安全意識の普及・高揚に向けた活動に賛同いただいた事業所に交通安全協会ホームページへのバナー広告掲載を依頼している。

令和元年度末時点で43事業所の協力を得ている。

第6 交通安全DVD等の貸出

令和元年度は、JA共済連高知から交通安全に関するDVD 5枚の寄贈を受け、在庫数は107本となった。区別別在庫数は、次表のとおりである。なお、令和元年度中における貸出は、130回であった。

区分	DVD
幼児・学童用	24
自転車利用者用	28
二輪ライダー用	7
高齢者用	8
一般ドライバー用	40
計	107

第7 表彰関係

令和元年度における表彰状況は、次表のとおりである。

個人表彰 181人（前年比 ± 0）

団体表彰 18団体（△ + 3）

表 彰 の 種 類	区 分	個人	団体	備 考
警察庁長官 全日本交通 安全協会長 連名表彰	緑十字金章	交通安全功労者 優良運転者	1 1	交通安全全国民運動 中央大会（東京） において表彰
	緑十字銀章	交通安全功労者 優良運転者	2 2	
		優良事業所 優良団体		
		優良学校 優良交通安全協会 優良安全運転管理者協議会	1 1 1	
中国四国管区警察局長・四国 交通安全協会長連名表彰		交通安全功労者 優良安全運転管理者	2 3	交通安全高知県民 大会において伝達 及び表彰
		優良運転者	38	
		優良事業所	2	
		優良団体	1	
		優良学校	4	
		優良職員	1	
全日本交通安全 協会長表彰	緑十字銅章	交通安全功労者	5	交通安全高知県民 大会において伝達 及び表彰
		優良安全運転管理者	3	
		優良運転者	67	
高知県警察本部長・高知県 交通安全協会長連名表彰		交通安全功労者	3	
		優良運転者	51	
		優良事業所	1	
		優良団体	5	
		優良職員	1	
高知県交通安全協会長表彰		優良二輪車安全運転指導員	1	
表 彰 合 計			181	18
				199

交通安全全国民運動中央大会受賞者一覧表

(敬称略)

表 彰 区 分		受 賞 者 名	支部名
金 章	交 通 安 全 功 勞 者	野 村 榮 一	南 国
	優 良 運 転 者	竹 崎 清 喜	須 崎
銀 章	交 通 安 全 功 勞 者	岩 川 楠 夫	室 戸
		松 村 純 爾	香 美
章	優 良 運 転 者	和 田 一 男	高 知
		樋 口 公 男	高 知
團 體 等	優 良 団 体	社会福祉法人長い坂の会 平成福祉専門学校	高知南
	優 良 事 業 所	司 牡 丹 酒 造 株 式 会 社	佐 川
	優 良 学 校	香 南 市 立 野 市 東 小 学 校	香 南
	優 良 交 通 安 全 協 会	一般社団法人高知県交通安全協会香南支部	香 南
	優良安全運転管理者協議会	高幡地区安全運転管理者協議会	窪 川

第8 交通安全高知県民大会の開催

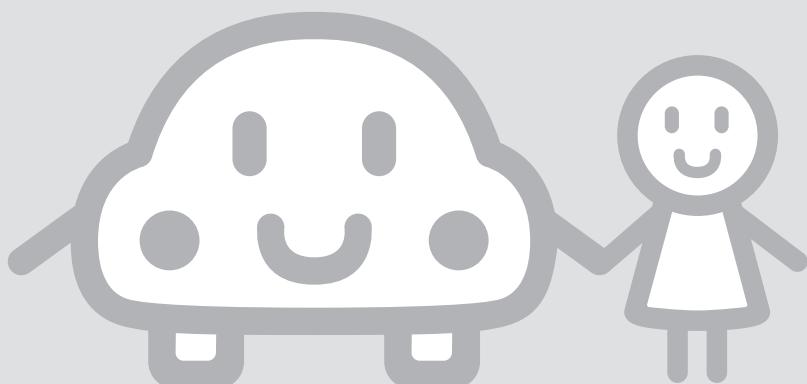
令和元年11月21日、「高知市文化プラザかるぽーと」において、第58回交通安全高知県民大会を開催し、交通安全等への功労者や団体、優良運転者に対する表彰を行い、その功労を称えるとともに、県民の代表者である受賞者と当協会関係者が更に連携を強化して、交通安全活動を推進することにより、高知県下における交通事故の防止に寄与することを誓った。

(大会実施要綱参照)



第58回 交通安全高知県民大会

交通ルールを守って
つながる笑顔



2019

一般社団法人 高知県交通安全協会

第58回交通安全高知県民大会実施要綱

日 時 令和元年11月21日(木) 13:30~15:30

場 所 高知市九反田2-1 高知市文化プラザかるぽーと(小ホール)

主 催 一般社団法人 高知県交通安全協会

後 援 高知県、高知県警察本部、高知県交通安全推進県民会議、高知市、
(順不同) RKC高知放送、NHK高知放送局、KUTVテレビ高知、KSS
さんさんテレビ、エフエム高知、高知新聞社、朝日新聞高知総局、
毎日新聞高知支局、読売新聞高知支局、産経新聞社、共同通信社
高知支局、時事通信社高知支局

大 会 次 第

1 開会のことば

2 交通事故犠牲者に対する黙祷

3 主催者あいさつ

4 来賓並びに役員紹介

5 表彰状の伝達

(1) 中国四国管区警察局長、四国交通安全協会長連名表彰

交通安全功労者 2名

優良安全運転管理者 3名

優良運転者 38名

優良団体 1団体

優良事業所 2事業所

優良学校 4校

(以上 50)

(2) 四国交通安全協会長表彰

優良交通安全協会職員 1名

(3) 全日本交通安全協会長表彰

(交通栄誉章「緑十字銅章」)

交通安全功労者 5名

優良安全運転管理者 3名

優良運転者 67名

(以上 75)

6 表彰状の授与

(1) 高知県警察本部長、高知県交通安全協会長連名表彰

交通安全功労者	3 名
優良運転者	51 名
優良団体	5 団体
優良事業所	1 事業所
優良交通安全協会職員	1 名

(以上 61)

(2) 高知県交通安全協会長表彰

優良二輪車安全運転指導員	1 名
総 計	188

7 祝　　辞

高知県知事
高知県議会議長
高知県公安委員長
高知県警察本部長

8 謝　　辞

9 大会宣言

10 講　　演

演題 交通事故の危険性
講師 高知県警察本部交通部長
　　　山崎 洋仁 氏

11 閉会のことば

宣言（案）

「交通事故のない安全で安心な高知県を実現する」ことは、県民全ての変わらぬ願いです。

この願いと努力にもかかわらず、依然として高齢者をはじめとする痛ましい交通事故が発生しています。

ここに「第五十八回交通安全高知県民大会」を開催するにあたり、改めて生命の尊さと交通事故の悲惨さを深く認識し、安全で快適な交通社会を実現するため、関係機関・団体さらには道路交通の場に参加する全ての人々と協力し、地域、家庭、学校、職場において、次の諸対策を県民運動として強力に推進することを誓います。

- 一、子供と高齢者の交通事故防止
- 二、全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの着用の徹底
- 三、飲酒運転の根絶
- 四、自転車の安全利用の推進
- 五、運転中の携帯電話等の使用禁止（自転車を含む）
- 六、暴走族等の根絶

右宣言します。

令和元年十一月二十一日

第五十八回交通安全高知県民大会

令和元年全国交通安全スローガン

一般部門（運転者向け）

チャイルドシート ちいさなVIPの 指定席

一般部門（歩行者・自転車利用者向け）

危険だよ スマホに夢中の そこの君

こども部門

とび出さない いったんとまって みぎひだり

第9 会議関係

1 全日本交通安全協会

会議名	月日	場所	議題等
交通安全国民運動 中央大会分科会	1月21日 火曜日	グランドビル 市ヶ谷	教育、企業、地域・家庭の3部会に分け て討議
同上 本会議	1月22日 水曜日	文京シビック ホール	令和元年度緑十字金・銀章及び全日本交 通安全協会長表彰(団体等)

2 四国交通安全協会

会議名	月日	場所	議題等
四交協役員会	6月25日 火曜日	高松市 J R ホテル クレメント高松	平成30年度事業報告及び決算報告 監査報告 令和元年度事業計画及び予算(案) 令和元年度各県分担額(案) 交通事故防止に関する宣言(案)
四交協幹事会	11月22日 金曜日	高松市 J R ホテル クレメント高松	令和元年度上半期事業報告及び予算執行 状況 各県交通安全協会の当面の諸問題

3 県交通安全協会

会議名	月日	場所	議題等
執行部会	5月22日 水曜日	高知南警察署	平成30年度事業報告 平成30年度決算報告 正会員の承認 ほか
会計監査	同上	同上	平成30年度決算監査
理事会	5月28日 火曜日	高知東警察署	平成30年度事業報告 平成30年度決算報告 正会員の承認 ほか
定期総会	6月13日 木曜日	サンピアセリーズ	平成30年度事業報告及び決算報告承認 令和元年度事業計画(案)及び予算(案)承認 ほか
理事会	同上	同上	執行部役員の選任
表彰選考委員会	7月16日 火曜日	高知県警察本部	緑十字金章・銀章、全日交表彰(団体等) 管区・緑十字銅章・県表彰選考
運営活性化委員会	8月27日 火曜日	高知南警察署	赤字解消に向けた取組 資金の定期預金 ほか
執行部会	11月13日 水曜日	同上	令和2年度予算(案) ほか
第58回交通安全高知県民大会	11月21日 木曜日	高知市文化プラザ かるぽーと	表彰状の伝達・授与 大会宣言の採択 講演「交通事故の危険性」
運営活性化委員会	2月4日 火曜日	高知南警察署	会員及び会費規則の一部改正 職員のブロック運用について ほか
執行部会	同上	同上	臨職、パートの時給アップについて
執行部会	2月21日 金曜日	同上	令和元年度決算見込 ほか
執行部会	3月17日 火曜日	同上	令和2年度事業計画(案) 令和2年度予算(案) ほか
理事会	3月26日 木曜日	高知東警察署	令和2年度事業計画(案) 令和2年度予算(案) 給与規程の改正 ほか

